

# 2016（平成28）年度 事業報告書

社会福祉法人山鳩会  
みどりの森

## 1. 理念・方針

### （1）法人理念

#### ①障がいがある人に…

自分の持っている力を発揮しながら、普通の生活を営み、自らが社会に価値のあるものである事に気づき、自己実現していけるよう支援する。

#### ②障がいがある人の家族に…

障がいがある人への思いを受け止め、それを実現していく。

#### ③援助者には…

障がいがある人と共に歩みつつ、自己実現を図るために必要なサービスを提供し、常に向上的である人材に育てる。

#### ④地域の方に…

共に生きていく環境を実現するために、お互いにメリットのある関わりを築いていく。

### （2）中期目標（平成26年度～平成28年度）

地域のニーズを取り入れた生産活動を行いながら、地域の活動に参加し、施設利用者の理解に繋がるよう啓発していく。

### （3）基本方針

#### ①地域の方々と交流できる行事等を開催して施設に関わる層を拡げると共に、地域の行事にもいろいろな形で参加し、良好な関係作りを進めていきます。

・通例的な行事、諏訪町運動会、Tボール大会、白十字フリーマーケットなど、地域や自治会主催の行事に積極的に参加できた。

#### ②自主生産を導入し、生産活動の充実を図ります。

・試行錯誤しつつ、マフィンやプリン、教えて頂いたキャラメル等への取り組みが広がった。

#### ③継続して通所できるよう、健康の維持・増進と病気の早期発見に努めます。

・新たな取り組みとして婦人科検診、その他定例の健康診断・歯科検診・感染症予防注射・歯磨き指導・体重血圧測定等を行い、家庭と情報を共有し、必要に応じて医療につなげる事ができた。

#### ④関係機関との情報交換を積極的に行い、支援の充実と組織強化に努めます。

・市役所福祉課、社協、相談センター、病院などの関係機関と連携し、一人暮らしに結び付けるなどできた。

#### ⑤第三者評価を実施して事業に反映し、より良いサービスを提供します。

・実施し、指摘事項等（終結記録や重要事項説明書の改定等）の改善に努めている。

## 2. 施設概要

- (1) 施設種別 指定障害福祉サービス事業（就労継続支援B型）  
(2) 利用定員 31名（平成28年度当初利用者数36名・2名退所）  
(3) 開所年月 平成21年4月  
(4) 施設規模 敷地面積  
延床面積 178.86㎡  
建物構造 鉄骨造り（地上2階1階使用）  
賃貸区分 民間より賃貸

## 3. 職員構成

### (1) 雇用契約あり

職 種	配置人数
管理者	1名
サービス管理責任者	1名（兼務）
支援員（常勤職員）	4名
保育士（常勤職員）	0名
調理員（常勤職員）	0名
事務員（非常勤職員）	1名 ※
支援員（非常勤職員）	6名
保育士（非常勤職員）	0名
調理員（非常勤職員）	3名
看護師（非常勤職員）	0名
理学療法士（非常勤職員）	0名
作業療法士（非常勤職員）	0名
合 計	15名

### (2) 嘱託

医師（4回／年）	1名
看護師（0回／年）	0名
理学療法士（4回／年）	1名
作業療法士（0回／月）	0名
合 計	2名

## 4. 利用者状況

### (1) 障害程度

	1	2	3	4	なし	合計
愛の手帳	1名	12名	16名	6名	0名	35名
身障手帳	1名	2名	0名	1名	0名	4名
精神保健手帳	0名	0名	0名	0名	0名	0名

(2) 年齢構成 (平均年齢 33.3歳)

	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計
男	0名	12名	3名	7名	0名	1名	23名
女	0名	5名	5名	1名	0名	1名	12名
合計	0名	17名	8名	8名	0名	2名	35名

最低年齢 男…20歳 女…20歳 最高年齢 男…60歳 女…74歳

平均年齢 男…33.4歳 女…33.1歳

(3) 担当福祉事務所

東村山市	清瀬市	杉並区			合計
33名	1名	1名			35名

(4) 障害程度区分

区分	1	2	3	4	5	6	未定	合計
人数	0名	2名	6名	7名	4名	0名	16名	35名

(5) 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所者	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
退所者	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2
月末数	36	36	36	36	36	36	35	35	35	35	35	35	426
延べ日数	792	828	792	828	792	792	805	770	805	805	700	805	9514
延べ人数	726	736	694	720	692	680	699	675	703	691	626	714	8356
出席率(定員)	106.5	103.2	101.8	101.0	101.5	99.7	98.0	99.0	98.6	97.0	101.0	100.1	100.6
出勤率(現員)	91.7	88.9	87.6	87.0	87.4	85.9	86.8	87.7	87.3	85.8	89.4	88.7	87.8

5. 日課

(1) 月～金曜日

時間	内容
8:30～9:00	朝礼・ウォーキング・ストレッチ
9:00～12:00	作業
12:00～13:00	昼食・昼休み
13:00～15:30	作業
15:30～15:45	清掃
15:45～16:00	終礼・帰宅

(2) 土曜日

8:30~9:00	朝礼・ストレッチ
9:00~11:20	作業
11:20~11:30	作業片付け
11:30~12:00	昼食・終礼・帰宅

※状況により変更あり

## 6. 重点目標

(1) 地域住民と交流できる場面を活用し、地域との良好な関係を築く。

- ① 諏訪町運動会・Tボール大会・白十字フリーマーケット・ふれあいカーニバルなど、地域や自治会主催の行事に積極的に参加する。
  - ・招待者としての色合いが濃いとを感じるが、継続的に参加できた。
- ② 地域参加の形を拡げ、行事に参加するだけでなく地域のサークルと連携するなど、いろいろな形を模索していく。
  - ・老人ホームの利用者と作業を通して触れ合う事ができたが、地域サークルとの連携には至らなかった。
- ③ 施設を知って頂くため、みどりの森新聞を適宜発行する。又、掲示板を活用し情報を発信していく。
  - ・月一回発行できて掲示板にて掲載した。今年度はカラー印刷にしたため目につきやすく、地域の方に声をかけられることも多かった。
- ④ 地域の関係団体の層を拡げ、相互に利益のある関係を築く。
  - ・白十字や社協（バザー、自主製品販売）等、少しずつ活動が広がってきた。

(2) 健康・衛生

- ① 定期健康診断・歯科検診・感染症予防注射・歯磨き指導・体重血圧測定その他、婦人科検診と耳鼻科検診を行い、病気の早期発見に努めて家庭と情報を共有し、必要に応じて医療につなげる。
  - ・担当職員より家庭に連絡し、医療につなげたケースあり。
  - ・定期健康診断（なごみの里B型事業所にて）白十字病院 8/2  
インフルエンザワクチン接種 むらせ医院 奥平Dr 11/24  
歯科検診 折笠Dr. 12/1  
歯磨き指導 多摩小平保健所歯科衛生士による 1/24  
嘱託医相談 内科（むらせ医院奥平Dr）8/25・10/27・2/23・3/30理学療法（栗原PT）7/23・10/7・11/26・2/21
- ② 出勤後、作業開始前に利用者の個々の状態に合わせ、地域周辺をウォーキングする。
  - ・酷暑、雨天を除いて実施できた。時間を増やしていくことも検討したい。
- ③ 毎月一回、第3火曜日を、スポーツの日として体を動かす。
  - ・ウォーキングやスポーツセンターを借りての運動や、講師を招いてのエクササイズ（笑いヨガ）等有効だった。スポセンへの送迎時間のロスが課題。

- ④必要な人に理学療法士による個々のプログラムを実施するなど、身体機能の維持向上を図る。
- ・個別支援計画に取り上げて実施できたが、個別支援計画にしないと忘れがちになってしまう事が多かった。
- ⑤ノロウイルス等の感染症予防のため、定期的に消毒し衛生環境を整える。
- ・時期に応じて実施でき、今年度もインフルは1名のみにとどめる事ができた。

### (3) 家庭・地域生活

- ①社会生活を送る上で必要な情報や社会資源の活用方法を継続的に提供し、必要に応じて他機関につなげるなど連携していく。
- ・ケース担当を中心に関係機関と連携し、2名の利用者が地域での一人暮らしに移行する事ができた。
- ②利用者個々のニーズに即して継続して通所できるよう、家族の声を聞きながらサービスに反映していく。
- ・連絡ノートや家庭への直接の連絡、行事の際、送迎時等顔を合わせた時の立ち話からも希望や意見を取りあげて検討を行った。

### (4) 作業・就労活動

#### ① 事業所内活動

(単位:円)

	受注・納品先	作業内容	稼働日	参加者	平成27年度収入	平成28年度収入
自主製品	ハナショウブ・白十字ホーム・産業祭他	焼き菓子	週2回	10名	0	579,260
清掃事業	西武・武蔵野パートナーズ	中央公園清掃	月9回	8名	739,825	731,484
	白十字ホーム・ハトホーム	施設内の草取り	月6回	8名	53,400	54,600
受託事業	(福)平成の里	封入・シール貼り	随時	全員	1,451,833	1,273,323
	(株)新日本包装	箱折り・組み立て	随時	全員	198,538	392,537
	(株)プロメディア	封入・シール貼り	随時	全員	383,606	263,080
	(株)八基通商	食品包装	随時	全員	20,290	4,315
	(株)新光	ダンボール組立て	随時	全員	79,000	75,000
	(株)Eネクスト	封入	随時	全員	312,967	356,881
	ばど	ポスティング	随時	全員	0	52,001
	(福)トーコロ青葉他	封入	随時	全員	51,160	66,816
その他事業	市内・近隣地域	古紙・リサイクル品回収	週2~3回	8名	1,339,815	2,166,937
	ミニバザー	リサイクル販売	月2回	8名	569,175	679,414
小計①					5,199,609	6,695,648

パート・アルバイト

(単位:円)

	受入先	作業内容	稼働日	参加者	平成27年度収入	平成28年度収入
パート契約	あゆみの家	清掃	週5日	1名	425,822	565,232
パート契約	セイコー物流	倉庫業務	週5日	1名	0	275,765
小計②					425,822	840,997
合計①+②					5,625,431	7,536,645

工賃支払実績

(単位:円)

	総額	平均額	最高額	最低額	パート・アルバイト
4月	345,351	10,157	14,210	2,360	50,985
5月	423,880	12,467	20,010	1,520	34,763
6月	427,280	12,567	17,700	2,150	53,253
賞与	413,000	12,475	13,000	3,000	
7月	400,700	11,788	17,290	1,570	48,518
8月	378,830	11,142	15,820	1,510	46,300
9月	376,860	11,084	16,320	1,870	48,568
10月	478,770	14,081	20,400	1,630	47,225
11月	471,430	13,866	22,160	1,670	94,537
12月	499,960	14,705	21,780	4,110	128,951
賞与	459,000	14,062	17,000	4,000	
1月	437,060	12,855	19,320	2,290	113,675
2月	418,570	12,311	18,900	2,240	129,002
3月	447,970	13,176	20,230	5,870	123,508
合計	5,978,661	176,736	254,140	33,550	919,285
平均	498,222	14,728	21,178	2,796	

※パート・アルバイトについては本人へ直接支給される。

②焼き菓子を自主生産品として取り入れ、作業種として安定できるようマフィンを始めとした商品開発を行う。

・試行錯誤しながら開発・販売。初年度65万円を売り上げた。作業台を購入し設備面を整備中。

③特性や希望を取り入れ作業種を設定し、作業能力を伸ばし、働く喜びを感じとれるように支援する。

・資源回収の拡大で回収の機会を増やしたり農作業で収穫の機会を設けたり、志向や体調に合わせて作業を選べるようになった。

④業者との安定した関係を継続し、工賃収入が安定できるようにする。

・連絡を密にし、継続するほか、回収の拡大で収入は安定した。

⑤ニーズに応じて短時間雇用の開拓・支援（フォロー）を行なう。

・1名新たに就労できた。他に2名が継続支援を行い、安定して働けた。

## (5) 給食

- ①嗜好調査や自治会で出た意見をメニューに反映すると共に、新しいメニューも提案していく。
  - ・栄養士が給食会議に入り新しい提案があった。また月に1回、郷土料理を取り入れた。
- ②季節に合わせて装飾や演出を工夫し、楽しめる要素を取り入れると共に現状を見直して「食べる」環境を改善する。
  - ・テーブルクロスやガラスの壁面に描いた絵、季節に合わせた掲示物や昼食時のテレビ、ランチョンマット等により視覚・聴覚による変化を楽しめた。
- ③自分たちで栽培した野菜を給食に取り入れ、季節感を味わう。
  - ・季節ごとに何種類か（トマト、ナス、きゅうり、小松菜、人参、ブロッコリー等）味わうことができた。

## ④栄養基準量（一人当たりの栄養基準量）

熱量	蛋白質	脂肪	カルシウム	ビタミン			
				A	B1	B2	C
746Kal	21.4g	23.1g	178mg	386 µg	0.6mg	0.5mg	54mg

## (6) 自治会活動

- ①利用者が日々感じていることを発信する場を提供し、要望などを具体化するための支援を行う（宿泊旅行、グループ別外出等の行事や施設内活動の問題点の改善等）
  - ・全体の取り組みが多かったが、小グループで行なうとより細やかに意見を吸い上げる事ができた。第三者評価で課題となっていた工賃の仕組みなどについても説明を行った。

## (7) 行事

- ①クラブ活動（隔月実施）5/20、7/8、9/16、11/18、1/13、3/24

種目	主な活動場所	活動内容
絵画工作	みどりの森食堂	ガラスの壁面の絵画、リース作り、トースト絵画、卵の殻の絵、アクセサリ作り
カラオケ	シダックス・ビッグエコー	2部屋に分かれて自由にカラオケを楽しむ、
音楽	みどりの森作業室	生演奏に合わせた歌、音楽ゲーム等
ダンス	自治会館・集会所・福祉センター等	自由ダンス

## ② 年間行事

日付	内容	場所	目的	人数
4/2	お花見ウォーキング	みどりの森	新入所者との交流、体力増進	39名
5/8	東村山子どもまつり	東萩山小	バンド演奏発表の場・地域啓発	9名
6/10	日帰りバス旅行	築地・スカイツリー他	保護者との交流・施設運営に対する理解を深める	56名
6/12	Tボール大会	化成小 校庭	地域交流。親睦を深める	29名
7/13 ~15	宿泊旅行「千葉」	鴨川・市原方面	千葉の自然に触れチームワークを高めながら他者を思いやり助け合う経験を積む	40名

8/9	G外出「映画鑑賞」	イオンモールむさし村山 ミュー	協調性を学びながら非日常を楽しみ各自の目標を達成する	6名
8/10	みどりの森暑気払い	久米川ボウル	利用者・保護者の交流の機会	45名
8/23	G外出「リトルマーメイド」	四季劇場「夏」	事前に決めた目標を達成し、通常体験できない感動を味わう	8名
9/2	G外出「鉄道博物館」	鉄道博物館	事前に目標設定し、余暇活動として活用できるような新しい体験をする	5名
9/11	諏訪町運動会	化成小学校	地域交流、体力作り	31名
10/4	G外出「果物狩り」	秩父観光ぶどう農園	紅葉と秋の味覚を満喫し各自の目標を達成する。	11名
10/23	白十字フリーマーケット	白十字ホーム	バンド演奏の場、福祉関係者との関係拡大、自主製品販売を通じてみどりの森を知って頂く	40名
10/25	G外出「高尾山」	高尾山	高尾山の自然に触れ、仲間と励まし合いながら徒歩で山頂を目指す	5名
11/14	G外出「六本木シュラスコバイキング」	六本木ヒルズ・日テレ・麻布十番	初めてのブラジル料理を味わいながら各自の目標を達成する	11名
11/27	諏訪町ふれあいカーニバル	社会福祉センター	バンド演奏。模擬店で地域のイベントに参加し、地域貢献する	38名
12/22	クリスマス忘年会	久米川「彩雅」	1年を振り返り、ねぎらい、楽しむ。就労者の表彰	52名
1/15	成人を祝う会	中央公民館	卒業後の節目を祝う	30名
1/28	施設まつり	みどりの森	地域交流と相互理解。バザー一品等販売	48名
2/3	節分「まめまき」	みどりの森	伝統行事と厄払い	42名
2/11	がらくた市	福祉センター	地域(社協)のイベントの盛り上げと協力、自主製品他の販売	7名
2/28 3/7	防災体験	立川防災館	社会資源を利用し実践的な防災体験を行なう	47名
3/26	納会	みどりの森	1年間の総括	78名

## 7. 防災訓練

### (1) 防災

①災害時の利用者の安全を図るため防災計画を見直し、それに基づき月1回防災訓練、年1回防災館での防災体験を実施する。また自衛消防効果訓練に参加して有事に備えて意識付けを行なう。

- ・月1回訓練を実施。消防署立ち合いの効果訓練に参加した。(12/12) また今年度は2回に分けて立川防災館にて防災体験実施した(2/28、3/7)

②災害時に備えて備蓄品、防災設備の見直し・充実を図る。

- ・3日分東京都からの寄付に加え、5日分の備蓄を行なった。また入れ替えの防災食を給食に用いたり、一部を家庭に配布し、災害食体験を行なった。
- ・防災設備点検 (株)テクノコーポレーション 4月、10月



## (2) リスクマネジメント

- ①事故対応マニュアルを施設内に掲示すると共にワゴン車・トラックにも常備し、緊急時に対応できるよう努める。
  - ・活用の機会はなかったが、掲示済。
- ②施設内のリスク軽減のため、作業後に毎日整理整頓を実施する。
  - ・職員による整理整頓は実施できた。また大掃除以外にも定期的に作業担当を中心に棚の入れ替え、整頓を行ない施設内での事故防止につながった。
- ③リスクマネジメントに関し職員間で情報共有し定期的にヒヤリハットの再確認を行なう。
  - ・通常の打ち合わせで情報共有を行なう事ができたが、ヒヤリハットとして意識するまでには至っていない。

## 8. 地域との交流

- ①地域の資源回収・ミニバザー・ミニミニバザー・ウォーキングなど、日常的な挨拶、声掛けを心がけ、良好な関係を築く。
  - ・バザーは定期開催でき、地域の方の楽しみになっている。通所の際にも声をかけて頂くなど、利用者個々が地域の中に浸透していると感じられる。
- ②地域の行事に積極的に参加していく。
  - ・恒例の諏訪町運動会、白十字フリマ、Tボール大会等の他、福祉センターでの古書まつりなど、参加イベントを増やす事ができた。
- ③地域の環境美化に自主的に取り組み地域貢献する。
  - ・不定期に実施。回収を増やすことはできなかった。
- ④掲示板や便りなど、施設理解に繋げるための情報を発信し、また交流する機会を作る。
  - ・今年度よりカラー印刷にしたためか、声をかけられることが増えた。また施設まつりに来所される方は昨年度に比べ幼児からお年寄りまで幅広く、人数も格段に増えた。
- ⑤地域の農家の方に指導を仰ぎながら農作物の収穫実習を行い、頂いた野菜を給食に利用し、楽しみながら地産地消に努める。
  - ・夏野菜を中心に給食に利用し、説明しながら提供した。

## 9. 実習生の受け入れ

### (1) 地域の特別支援学校・在宅者の受け入れを行う。

卒後の施設入所に向けた実習を受け入れ、体験により将来の進路選択に繋がる機会を提供する。(夏休みなどを利用した任意実習を含む)

- ・清瀬特別支援学校より 1名 春・秋

### (2) 大学や福祉養成機関からの実習を受け入れる。

学生を受け入れ充実した実習を提供する事で、将来福祉の現場で活躍する人材を増やすよう努める。

- ・介護等体験 5日間 26名
- ・日本児童教育専門学校より 12日間 2名
- ・市立2中より 2日間 5名 市立4中より 2日間 2名

## 10. 父母会、親の会との連携

### (1) 父母会

- ①保護者会を開き、施設に対する理解や協力体制が取れるようにする。
  - ・行事を含めて月1回実施した。
- ②家族参加行事や個別面談等を通して信頼関係を構築し、より良いコミュニケーションが図れるよう努める。
  - ・年1回の個別面談は保護者からの希望も多く、信頼関係を構築する良い機会となっている。
- ③施設便りを月一回発行し、施設での日常の様子を伝えていく。また法人の広報紙・HP等を活用し、外部の人にも活動を知って頂けるよう努める。
  - ・掲示板に掲示する事で地域の方に興味を持って頂けるようになっている。
- ④よりよい支援を実施するため（健康面の管理も含め）家庭と情報交換を密に行なう。
  - ・送迎の際、行事の際、連絡帳、電話連絡、メール等さまざまな方法で情報交換を行った。

### (2) 親の会

- 山鳩会行事部会を中心に双方の連携を図り行事等を円滑に進めていく。
- ・共催行事を中心に協力する事ができた。

## 11. 職員研修

### (1) 外部・内部研修

- ①福祉職員としての専門分野の知識や技術を習得し、現場実践に活かす。
  - ・研修での結果を発表、問題提起を行い結論まで話し合う事ができた。

研修名	実施日	主催	実施場所	参加者
全体職員研修	4月6日	社会福祉法人山鳩会	なごみの里就労継続B型事業所	全員
食品衛生の最新情報と食中毒防止	5月26日	東京都多摩小平保健所	東京都多摩小平保健所	岩崎豊子
プラス思考とスムーズなコミュニケーションを通じて	5月27日	東京都福祉協議会	研修社英語センター	柳葉ひかり
全国知的障害関係施設長等会議	6月23日 ～24日	日本知的障害者福祉協会	パシフィコ横浜	真崎ひろみ
全体職員研修	9月28日	社会福祉法人山鳩会	ひなたの道	全員
車輛安全運転講習会	10月26日	日本車輛福祉協会	機械振興会館	田中英史
階層別研修「チームリーダー強化研修」	11月1日 ～2日	東京都福祉人材センター研修室	日本社会事業大学文教キャンパス	大竹正史
高齢化～知的障害者と認知症	11月5日	東京都社会福祉協議会 知的障害部会	飯田橋セントラルプラザ	河内るみ子
階層別研修「チームリーダー強化研修」	11月8日 ～9日	東京都福祉人材センター研修室	日本社会事業大学文教キャンパス	大久保亜弓
重症心身障害者の意思決定支援	11月15日	東京都障害者通所活動施設職員研修会	国立オリンピック記念青少年総合センター	柳葉ひかり
安全運転管理者講習	11月29日	東京都交通安全協会	東村山中央公民館	田中英史
メンタルヘルスを重要視した職場づくり	2月14日	東京都福祉人材センター研修室	東京都社会福祉保健医療研修センター	真崎ひろみ

## 12. 会議

種 目	回 数	内 容
職員会議	1回／月	行事实施、C対応等について
評価会議	2回／年	アセスメントの見直し、支援計画について検討
給食会議	1回／月	自治会等で出た利用者による希望メニューの検討、課題等
ケース会議	3ケース／月	ケース個々について検討
生活・作業場面会議	1回／月	各場面等について課題・検討
自主生産会議	1回／月	自主生産について検討

## 13. 苦情解決、個人情報保護、権利擁護、セクシャルハラスメント防止

### (1) 苦情解決

①規定に基づき、問題が発生した場合は親切丁寧迅速に対応し問題解決にあたる。

②第三者委員を設置し対応に当たる。

・苦情 1件（利用者間のトラブルについて）第三者委員を交え、話し合いを行なった。

### (2) 個人情報保護

規定・個人情報提供同意書に基づき、個人の情報を提供する際は慎重に取り扱い、データの管理を適切且つ安全にする。

・施錠可能な書庫に保管するなど管理を徹底できた。

### (3) 権利擁護

利用者の人格を守り、利用者の主体性を尊重した支援を行う。

・自治会を通して利用者同士も尊重し合うことを話し、職員も各種会議の中で日常的に話題にすることで意識化できるよう心がけた。

### (4) セクシャルハラスメント防止

施設内に男女各1名ずつ担当者を設け、防止・対応に当たる。

### 苦情解決

	氏名	連絡先
責任者	真崎 ひろみ	395-3210
担当者	田中 英史	395-3210
第三者委員	赤木 ふき子	395-3210

### セクシャルハラスメント

	氏名	連絡先
責任者	真崎 ひろみ	395-3210
担当者（男性）	大竹 正史	395-3210
担当者（女性）	柳葉 ひかり	395-3210

### 虐待防止

	氏名	連絡先
責任者	真崎 ひろみ	395-3210
担当者	大久保 亜弓	395-3210